

令和6年度神戸市人と猫との共生推進協議会 第3回定例会議録

1. 日 時

令和7年3月13日(木) 14:00~16:00

2. 場 所

神戸市中央区文化センター1111 会議室

3. 出席者

(1) 構成団体 12 団体の内 8 団体出席、2 団体委任状(規約第 6 条第 2 項の規定により会議成立)

(2) 出席者氏名 資料 1 出席者名簿のとおり(一般傍聴者 0 名)

4. 議 事

【報告事項】

(1) 野良猫の繁殖制限事業について(令和7年2月末現在)資料 p2~6

・本年度地域猫活動等の支援申込は 118 件、情報提供は 39 件あった。

・一方、今年度も含め、既に支援を行った地域から猫の TNR について追加の申込があった地域は 259 件あった。

・事業部会で承認し、支援を行ったのは、今年度に新規支援申込があった地域が 133 件、過去の年度に申込があり今年度支援した地域が 16 件あり、計 149 件だった。

・今年度も含め既に支援をおこなった地域で、追加の申請があり、本年度 TNR を行った地域が延べ 255 件あった。

・手術については、全市で 298 の地域に対し 1,278 匹実施し、3 月の猫管理票の発行状況から最終的に約 1,400 匹と考えられる。

・雌雄の別では、雄 609 匹、雌 669 匹とほぼ同数であった。

・協議会事業の実績をプロットマッピングで見える化した。年度ごとに、申請状況マップでは、支援申込、情報提供別に、手術実施状況マップでは、手術数の多少がわかるように示した。支援申込、情報提供とも、市街地に集中し、なかでも中央区以西が目立っている。

(2) 寄付・募金について…資料 P7

・3月11日現在、3,194,120 円の寄付、募金があった。内訳は、寄付金 2,730,492 円、募金が 462,671 円、利息が 957 円であった。

(3) 協議会主催の譲渡会の開催

・令和6年6月に IKEA 神戸、9月にこうべ動物共生センター、令和7年2月に神戸マルイ三宮センター街で開催した。

【協議事項】

(1) 令和7年度事業計画暫定案…資料 p8

・月1回開催する事業部会で支援申込や情報提供に基づき、TNRを進めていく。年間1,800匹程度の不妊手術を予定している。このほか、TNRの検証、協力者の募集、登録も引き続き実施する。

- ・ガイドラインの周知、不適正な給餌者に対する指導啓発の実施とともに、研修会やイベントの開催も検討する。

- ・協議会主催、共催の譲渡会を令和7年6月にIKEA神戸、10月にこうべ動物共生センター、令和8年2月に神戸マルイで開催する。また、協議会ホームページで各団体の譲渡会情報を提供していく。

- ・このほか、定例会議、事業部会の開催や寄付金、募金集め、神戸市との連携や情報の共有を図っていく。

(2) 来年度の予算暫定案…資料 p9

- ・収入として、21,950,000 円を見込んでいる。内訳は、神戸市からの補助金として 16,310,000 円（予定。昨年度と同額計上）、このほか、繰越金 2,440,000 円、募金、寄付として 3,200,000 円を見込んでいる。

- ・支出として、1,800 匹分の野良猫の繁殖制限事業として 20,480,000 円、指導啓発として 180,000 円、猫の譲渡推進事業として 200,000 円、定例会議費として 60,000 円、事務費として 800,000 円、保険料 130,000 円、予備費として 100,000 円で収入と同額の合計 21,950,000 としている。

- ・参考として、令和 6 年度の収支予算見込みを 10 ページに記載している。

※令和 7 年度事業計画暫定案、予算暫定案ともに承認された。

【連絡事項】

(1) 神戸市より

- ・市の猫の引き取り数、殺処分数は、前年に比し、大幅に減少している（1 月末時点）。殺処分率も、令和 5 年度 23.1% に比し、令和 6 年度は令和 7 年 1 月末時点で 9.6% と減少している。

- ・神戸市も参加している「ペットの防災実行委員会」が、日頃から災害時の対策を取る助けとなるよう、「ペット防災健康手帳」を作成した。

(2) 各団体より

- ・手術数が減少しており、一定効果が出てきていると考えられる。協議会として、今後の新たな事業について検討していく必要がある（獣医師会）。

- ・保護猫の譲渡に年齢制限があるが、ペットを飼うことで高齢者の健康が保たれるなら、高齢者が飼えなくなった場合のセーフティネットを考えたほうがよい（Knots）。

- ・猫の多頭飼育の問題があるが、行政の方で届出とか規制はできないのか（猫ネット）。
→多頭飼育で問題になるような人は、ルールを守れない人なので、届出もしてこない。逆にまじめにやっている人に負担を課すことになってしまう。動物愛護法の改正検討の中で緊急一時保護等が検討されている。

令和6年度 第3回定例会議出席者名簿

神戸市人と猫との共生推進協議会

敬称略

所属	職名	氏名
公益社団法人 神戸市獣医師会	会長	中島 克元
	副会長	岸本 英一
	事業担当委員	橋本 裕規
特定非営利活動法人 神戸猫ネット	理事長	杉野 千恵子
	事務局長	下村 美鈴
	理事	坂田 由美子
公益社団法人 日本動物福祉協会	顧問	山口 千津子
公益社団法人 Knots	理事長	富永 佳与子
	理事兼事務局長	鈴木 豊彦
	事務局次長	中尾 千恵子
株式会社 フェリシモ	生活雑貨事業部猫部G/キャラクターG 上席係長	小木 のり子
ネスレ日本 株式会社	ネスレ ピュリナ ペットケア マーケティング統括部	太期 由美子
あいおいニッセイ同和損害保険 株式会社 神戸支店	副支店長	和田 由佳
神戸市自治会連絡協議会	副会長	新渡戸 素
特定非営利活動法人 どうぶつ弁護団	理事	家木 祥孝

欠席

神戸市商店街連合会	委任状受理
一般社団法人神戸市婦人団体協議会	委任状受理
株式会社 神戸新聞社	

規約第5条第4項に基づく出席者

神戸市健康局	生活衛生担当部長	丸尾 登
	環境衛生担当課長	木村 知紀
	動物管理センター担当課長	玉嵯 一彦
	環境衛生課動物衛生担当係長	梅木 章成
	環境衛生課動物衛生担当係長	今田 吉隆